

## 2 お彼岸の意味

お彼岸は、3月の『春分の日』と9月の『秋分の日』の前後3日間の計7日間、もしくはこの期間に行なわれる仏事（彼岸会）を指します。

本来の意味としては、煩惱を脱した悟りの境地の事を言います。三途の川をはさんで、こちら側（人間）の世界を**此岸**といい、向こう側（仏様）の世界を**彼岸**というのです。

彼岸は、パーラミター（波羅蜜）という梵語の漢音写で「到彼岸」と訳されます。「此の迷いの岸である現実の世界から、彼の悟りの岸である仏の世界へ到達する」という意味でもあります。



### 3 お彼岸の期間はいつ？

お彼岸の期間は春分の日・秋分の日を中間とした7日間です。

初日を「彼岸の入り」、最終日を「彼岸の明け」と呼び、中間の日を

「彼岸の中日」といいます。

前後に3日間の日数がある理由

は、彼岸に至るための6つの

徳目の修行「**六波羅蜜**」を毎

日1つずつ実践するために

設けられているといわれて

います。

**六波羅蜜**とは「布施」「持戒」「忍辱」

「精進」「禅定」「智慧」の6つです。※6ページ参照



3日前

彼岸の入り

春分の日  
秋分の日

中日

3日後

彼岸の明け

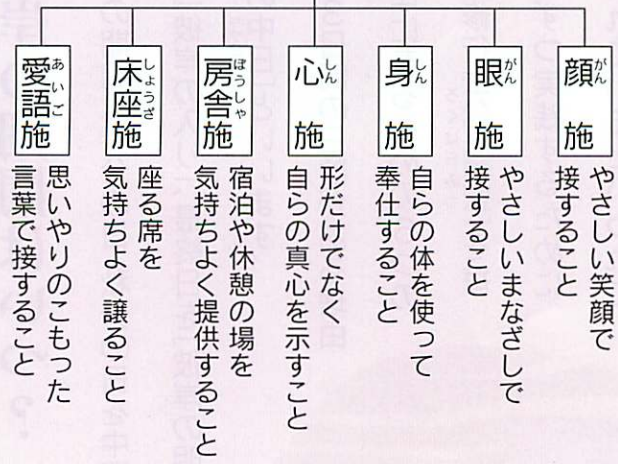
4

六波羅蜜とは？

一、布施ふせ

物でも知識でも、他人のために  
なるものは惜しみなく差し出すこと。

無財の七施



二、持戒じがい

生き物を殺さない、盗みをしないうといった戒律(きまり)を守ること。

三、忍辱にんにく

人から冷たくされたり、侮辱されても憎むことなく耐えること。

五、禪定ぜんじょう

常に心を落ち着けて、物事をありのままに見ること。

六、智慧ちえ

仏の智慧を身につけて、心を清らかにすること。

四、精進しょうじん

常に努力して善い行いに励むこと。

このように、彼岸には六種類の徳目を行うことで、ご先祖に感謝し、これからの私たちの生活を見守っていただくということになるのです。

# お彼岸準備カレンダー

	1	2	3	4	5	6
			桃の節句			
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20

彼岸の入り



墓参用品や  
精進料理の準備

お仏壇の掃除、  
生花やぼたもちの準備



21	22	23	24	25	26	27
(春分の日) 彼岸の中日			彼岸明け			お仏壇の日

墓参り

(墓参用品のチェック、僧侶への礼金の準備)



28 : 29 : 30 : 31

3月

